

事業年度

1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183 - 0044 東京都府中市日鋼町1-1
お問合せ先：0120-232-711

上場証券取引所

東京証券取引所スタンダード市場

公告の方法

電子公告により行う
公告掲載URL <https://convum.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第73期 事業報告書

2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日



パレツチャー【PALLETCHR】

- ・ロボット等でのパレタイズ専用のハンドユニット
- ・段ボール、袋物用とバリエーションを展開

袋物専用パレツチャー SGP-H2シリーズ



真空吸着機器のパイオニアメーカーとして
魅力ある製品づくりを通じて、
社会から信頼される企業、
継続的な企業成長を目指してまいります。

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第73期（2023年1月1日～2023年12月31日）の事業概況
を謹んでご報告いたします。

2024年3月

代表取締役社長 伊勢 幸右

次世代に向けて

ウィズコロナからアフターコロナへ転換期にあって、我々を取り巻く環境は大きな変革へ突入しております。市場マーケットの変化だけでなく、製造技術・営業手法や製品PR方法も大きく変わってきております。第74期がスタートいたしました。次の10年、20年を見据え『コンバム』のブランド価値の向上と市場の拡大に向けて、新しいアイデアと戦略を持って挑戦してまいります。経営理念の『豊かな価値』の意味を常に全従業員で連帯し、お客様、株主の皆さまと次世代の『コンバム』を目指し作り上げていく所存です。今後とも一層のご愛顧を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

トップインタビュー

Q①—第73期の業績についてご説明ください。

第73期の連結売上高については、1,924百万円（前年同期比80.8%）となりました。国内市場においては、前年好調でありました半導体製造装置及びメンテナンスの需要減少が顕著となり、真空機器及び吸着パッドの受注が減少しました。生産設備の省人化、自動化の流れでのロボットハンド関連製品の需要は旺盛であり、新たな顧客の取り込みを中心に営業活動を展開し、売上高は1,566百万円（前年同期比84.9%）となりました。

海外においては、韓国市場では、昨年前半までの半導体関連の特需が収束したことから、ソーラーパネル、カメラレンズ及び二次電池関連を中心に営業活動を展開し、現地生産によるセカンドブランド製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応し、売上高は369百万円（前年同期比85.0%）となりました。中国市場においては、ゼロコロナ政策の解除以降、内需主導での経済は回復に至らず、また米国との半導体分野の輸出制限強化による生産回復が低調に推移したことから、売上高は88百万円（前年同期比76.5%）となりました。タイでは、周辺諸国を含めて自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行い、売上高は45百万

経営理念

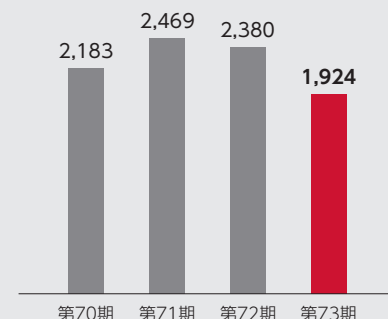
人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

企業理念

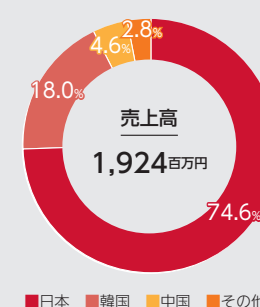
- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション（報・連・相）の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

連結業績ハイライト

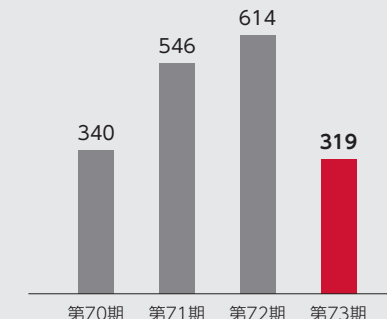
■ 売上高 (百万円)



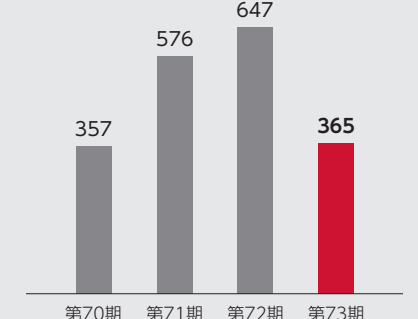
■ 地域別売上高比率



■ 営業利益 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



トップインタビュー

円（前年同期比66.4%）となりました。

利益面においては、製造コスト削減と在庫水準の適正化を図り経費全般の見直しを進め、連結営業利益は319百万円（前年同期比52.1%）、連結経常利益は365百万円（前年同期比56.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益は237百万円（前年同期比51.8%）となりました。

なお、当連結会計年度から、当社の連結子会社であったCONVUM USA,INC.は清算手続きの進捗に伴い重要性が低下したことから、また、妙徳空霸陸機械設備（上海）有限公司は売却により、それぞれ連結範囲から除外しております。

Q②—今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

第74期の連結業績予想は、連結売上高1,814百万円、連結経常利益305百万円、親会社株主に帰属する当期純利益220百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、以下の取り組みを実施してまいります。

当社独自の真空吸着機器に特化した基礎研究と新製品開発を推し進めます。各種生産設備の自動化需要を背景に、引き続き需要の増加が予想される主力製品の吸着パッドについて、生産工程自動化の推進、生産効率の改善、品質の安定とコスト削減に取り組みます。

また、近年のロボット需要の拡大に対応し、当社の真空吸着技術を応用したロボットハンドの開発や、環境に配慮した電動化製品、食品業界向け製品の開発など、将来を見据えた取り組みを継続してまいります。

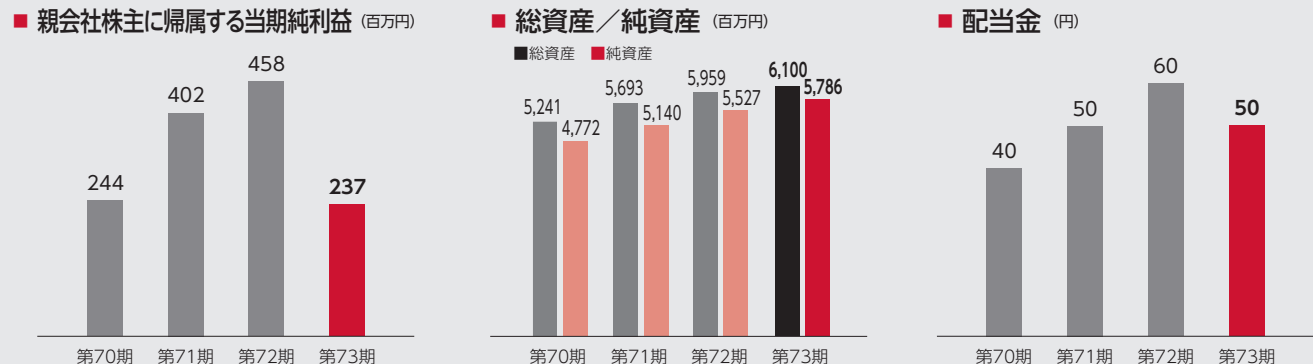
Q③—最後に株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

コンバムグループは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。開発型企業として、魅力ある新製品の開発と市場投入を積極的に推し進めるとともに、モノづくりを通じて、地域社会から信頼される企業として貢献してまいります。

株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績及び将来に向けた投資資源の確保を考慮した株主還元を基本方針としております。

このような方針のもと、第73期の1株当たり配当金につきましては、中間配当金25円00銭、期末配当金25円00銭、年間配当金50円00銭といたしましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



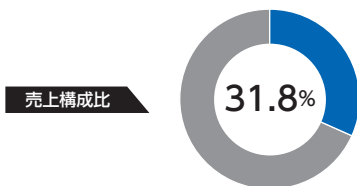
トピックス 自社製ゴムプレス機を開発

多品種少量生産に対応するため、第5工場に設置する小型のゴムプレス機を自社開発しました。プレス能力は8t、maxで60mm×60mm程度の小型の金型に対応しております。取り扱いが簡単で、段取り替えが素早くできるよう、当社の生産工程に合わせております。生産設備は自社の生産技術部門で開発・製造し、フレキシブルな生産体制の構築をしてまいります。



エジェクタ (コンバム)

売上高 6億11百万円



世界的な半導体、電子部品の不足により新規設備が減少し、半導体製造装置、各種自動機の生産調整によるメンテナンス需要が軟調となり、当期の連結売上高は611百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は31.8%となり、前年同期比17ポイント低下いたしました。

EJECTOR (CONVUM)

エジェクタは圧縮空気を利用して真空を発生させる真空発生器で、圧縮空気をノズルから放出 (エジェクト) させることから由来しております。

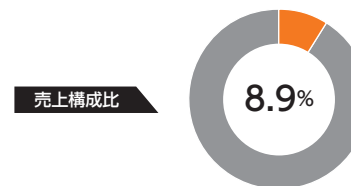


About CONVUM

コンバムとはコンプレッサからの圧縮空気でバキューム (真空) を発生させること、バキュームをコントロールできる装置 (コントロール バキューム) をイメージして創り出した造語です。CONVUMは当社の登録商標です。

圧力センサ

売上高 1億70百万円



半導体製造装置向けの需要減少により、需要は軟調に推移いたしました。その結果、当期の連結売上高は170百万円となりました。また、売上高構成比は8.9%となり、前年同期比23.4ポイント低下いたしました。

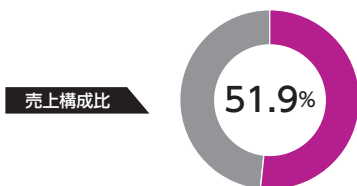
SENSOR

気体や液体の圧力の変化を内部の感圧素子にて測定し電気信号に変換、出力するものです。当社の圧力センサは空気圧を対象とし、吸着確認・着座確認・元圧管理など様々な用途に使用されています。



吸着パッド

売上高 9億98百万円



設備投資需要は減少しましたが、既存設備の生産活動の高まりに伴い、特に半導体製造設備向けの大口需要がありました。ロボット関連業界向けの新製品の需要拡大もあり、当期の連結売上高は998百万円となりました。売上高構成比は51.9%となり、前年同期比19.8ポイント低下いたしました。

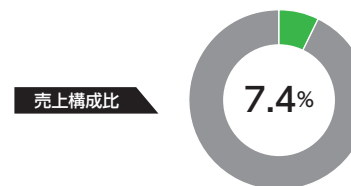
PAD

吸着パッドは真空発生機器より得られる真空 (負圧) を利用してワーク (吸着物) を吸着し、持ち上げる製品です。「吸着パッド」の他、「バキュームパッド」「サククションパッド」「サククションカップ」「カップ」とも呼ばれています。パッドは人間で例えると「手」(または指) とも言えます。



FA機器その他

売上高 1億42百万円



各種自動機での新規設備需要が減少により、需要は軟調に推移いたしました。その結果、当期の連結売上高は142百万円となりました。売上高構成比は7.4%となり、前年同期比18.3ポイント低下いたしました。

ROBOT-HAND

各種ロボットに取付けるロボットハンドです。各ロボットメーカーの各種ロボットへ取り付け可能なフランジを多数用意しているため、お客様での設計が不要で、すぐにお使いいただくことが可能です。



当社の製品は、FA(ファクトリーオートメーション)機器として、様々な業種で製造工程や装置に組み込まれご使用いただいています。

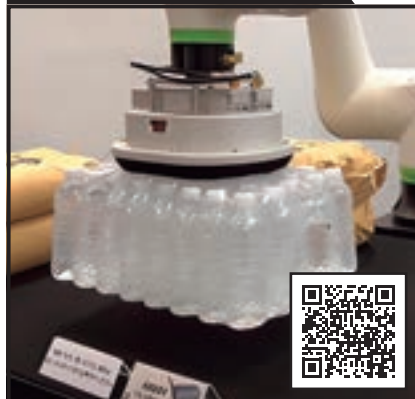
COP (ベルヌーイ
チャック) での食品搬送



PK2高耐久パッドでの
アルミ吸着



SGP-H2での
シュリンク包装搬送



食品衛生法に対応した
吸着パッドでの食品(裸品)吸着



コンバムの製品や技術は様々な産業の
生産現場で活躍。
生産の自動化と品質の向上に貢献しています。



ポイント!

半導体・自動車部品だけでなく、
食品工場の自動化に対応する製品
を拡充。
吸着パッドのハイジエニック材質
(食品衛生法対応、抗菌材質) から
始まり、本体材質がオール
SUS304で分解洗浄可能な真空機
器MVEシリーズなど、業界別にラ
インナップを拡充しております。

【トピックス】①

2023年国際ロボット展へ出展しました



2023年11月末国際ロボット展へ出展いたしました。国内外のロボットメーカーのハンド(物を掴む部分)の専門メーカーとして、真空発生器エジェクタ、吸着パッドだけでなく、ロボットへ接続する取付部品までをラインナップし、ロボットハンドのメーカーとして認知していただきました。

【トピックス】②

2023年4月ニコニコ超会議へ参加いたしました



(株)ドワンゴのニコニコ超会議へ参加いたしました。若者へのIRを含めた会社知名度の向上とロボットを広く一般の皆さまにも直接見ていただく機会としております。2024年4月も参加予定です。

科目	第72期 2022年12月31日現在	第73期 2023年12月31日現在
資産の部		
流動資産	3,367,611	3,452,678
固定資産	2,592,235	2,647,696
資産合計	5,959,846	6,100,375
負債の部		
流動負債	304,500	159,649
固定負債	128,247	153,815
負債合計	432,748	313,464
純資産の部		
株主資本	5,327,722	5,471,811
その他の包括利益累計額	159,306	269,350
非支配株主持分	40,069	45,749
純資産合計	5,527,097	5,786,911
負債純資産合計	5,959,846	6,100,375

科目	第72期 2022年1月1日～ 2022年12月31日	第73期 2023年1月1日～ 2023年12月31日
売上高	2,380,655	1,924,052
売上総利益	1,325,685	983,637
販売費及び一般管理費	711,553	663,807
営業利益	614,132	319,829
経常利益	647,888	365,489
税金等調整前当期純利益	651,931	349,544
当期純利益	462,816	236,824
非支配株主に帰属する当期純利益	4,024	△657
親会社株主に帰属する当期純利益	458,791	237,481

第73期 決算のポイント

- ✓ 半導体関連設備向け製品や物流業界及び食品業界向けのロボット関連製品の販売に注力した結果、連結売上高は1,924百万円(前年同期比80.8%)、連結経常利益は365百万円(前年同期比56.4%)
- ✓ 固定資産は、主として有形固定資産が82百万円、無形固定資産が25百万円減少、投資その他の資産が163百万円増加したため、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、2,647百万円
- ✓ 純資産は、主に利益剰余金が144百万円増加したことにより純資産は5,786百万円、自己資本比率は94.1%

科目	第72期 2022年1月1日～ 2022年12月31日	第73期 2023年1月1日～ 2023年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	676,894	460,566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,229	△185,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,594	△92,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,417	18,285
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	391,487	200,474
現金及び現金同等物の期首残高	1,841,278	2,232,765
現金及び現金同等物の期末残高	2,232,765	2,433,239

社名	コンバム株式会社
創立(設立)	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	東京都大田区下丸子2丁目6番18号
国内事業所	岩手、東京、大阪
連結子会社	CONVUM KOREA CO.,LTD. CONVUM (THAILAND) CO.,LTD.
従業員数	86名(連結従業員数)

代表取締役社長	伊勢 幸治
取締役	佐藤 穰
取締役	國松 孝行
取締役	杉山 達郎 *
常勤監査役	佐藤 伸一
監査役	友田 勉 *
監査役	牧村 博一 *

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
6,600,000株	1,657,000株 (その内自己株式 100,448株)	1,033名 (前期末比 17名減)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊勢興産株式会社	282,760	18.18
伊勢 すが子	126,020	8.10
伊勢 幸治	82,410	5.29
いずも産業株式会社	53,300	3.42
光通信株式会社	45,100	2.90
MTAsia株式会社	36,000	2.31
神谷 信一	35,100	2.25
株式会社日伝	28,000	1.80
小川 敦	26,700	1.71
伊勢 三郎	25,325	1.62

(注) 1. 当社は自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して計算しております。

ホームページ
のご案内



当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

https://convum.co.jp

